

2024年9月22日  
9月第四主日礼拝式



# 139 わたしのすべてを

1. わたしのすべてを おささげします  
日々 主を愛して おゆだねします

\* 主のために ささげます

わたしのすべてを ささげます

2. わたしのすべてを 主のものとして  
みたまのちからに 満たしてください

\* (くりかえし)

## 52 こんな時

こんなとき イエスさまに  
愛のうたをうたう

こんなとき 手をあげ  
手を主にあげる

主よ愛します 主よ愛します  
心こめて愛します

新聖歌275番 「信仰こそ」

- 1 信仰こそ 旅路(たびじ)を導く杖(つえ)  
弱きを強むる力なれや 心勇ましく旅を続けゆかん  
この世のあやうき 恐るべしや
- 2 わが主をかしらと 仰ぎ見れば 力の泉は  
わきて尽きず 恵み深き主の み傷 見まつれば  
わずかに残る火 ふたたび燃(も)ゆ
- 3 主イエスの御跡(みあと)を たどり行けば  
険しき山路(やまじ)も やすけき道  
いかで迷うべき などて疲(つか)るべき  
真直(ますぐ)に御神へ 近づき行かん

【次】

新聖歌275番 「信仰こそ」

- 4 信仰をぞ わが身の杖(つえ)と頼(たの)まん  
するどき剣(つるぎ)も 比(くら)ぶべしや  
代々(よよ)の聖徒(せいと)らを 強く生かしたる  
御霊(みたま)をわれにも 与えたまえ

アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

## 新聖歌 9番 「力の主を」

- 1 ちからの主を ほめたたえまつれ  
わが心よ 今しも目覚めて  
たてごとかき鳴らしつつ 御名をほめまつれ
  - 2 救いの主を ほめたたえまつれ  
みことばもて わが身をはげまし  
悩みに 勝たしめたもう みいつたぐいなし
  - 3 いのちの主を ほめたたえまつれ  
しげき恵み 雨とふりそそぐ  
尽きせぬ みいつくしみを いかで忘るべき
  - 4 さかえの主を ほめたたえまつれ  
世(よ)をこぞりて かしこみあがめよ  
光りにいます わが主を とわにほめまつれ
- アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン